

【小中高生の交通事故による救急統計について】

子どもの交通事故による被害を予防するため、管内の過去10年間（2011年から2020年まで）の小学生から高校生の年代の交通事故（歩行または自転車に乗車中の事故）による救急統計を取りまとめましたのでお知らせします。

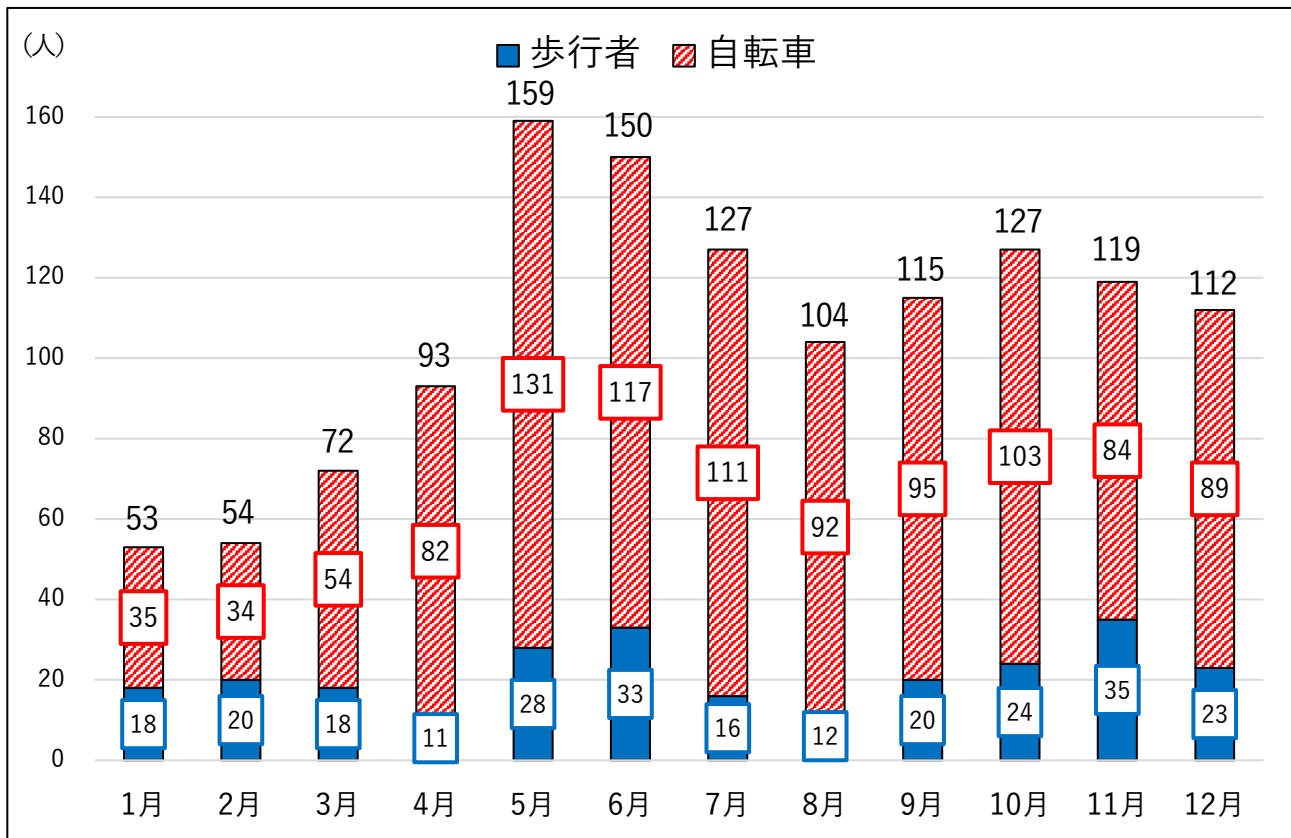
過去10年間に管内の小学生から高校生までの年代の1,285人が交通事故によって救急搬送されています。そのうち歩行者として交通事故にあったのは258人（20.1%）、自転車に乗車中交通事故にあったのは1,027人（79.9%）となりました。

詳細は以下のとおりです。

※ 小数点を含む数値は、小数点第二位を四捨五入しています。

1 月別の救急搬送人員

月別の救急搬送人員をみると、「5月」が最も多く159人（12.4%）、次いで「6月」が150人（11.7%）と続きます。

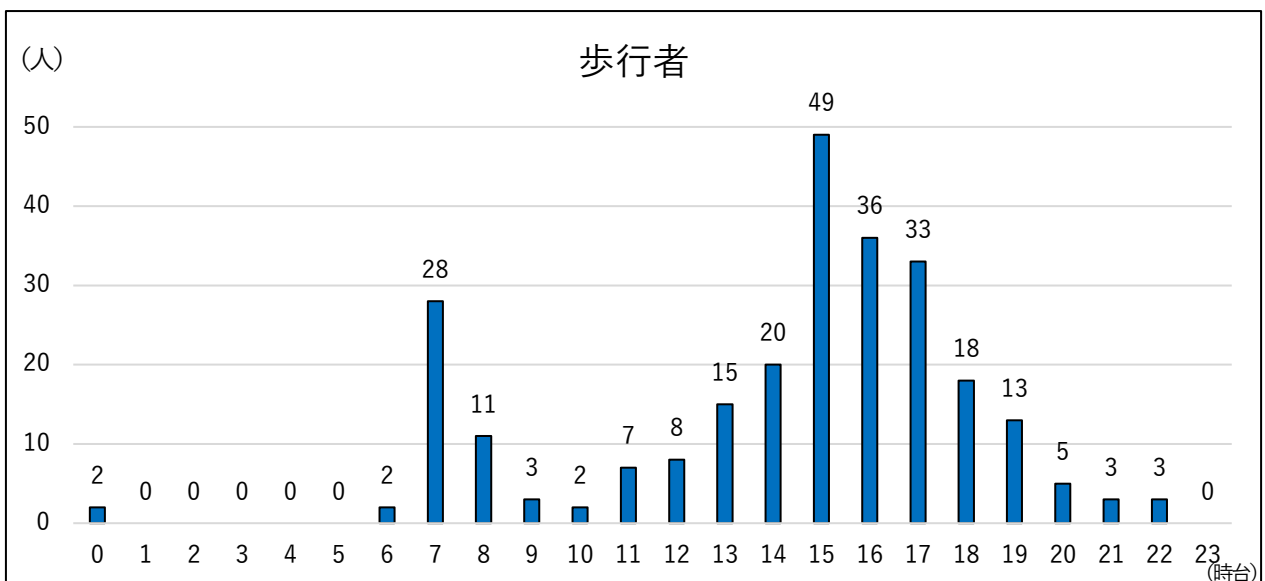
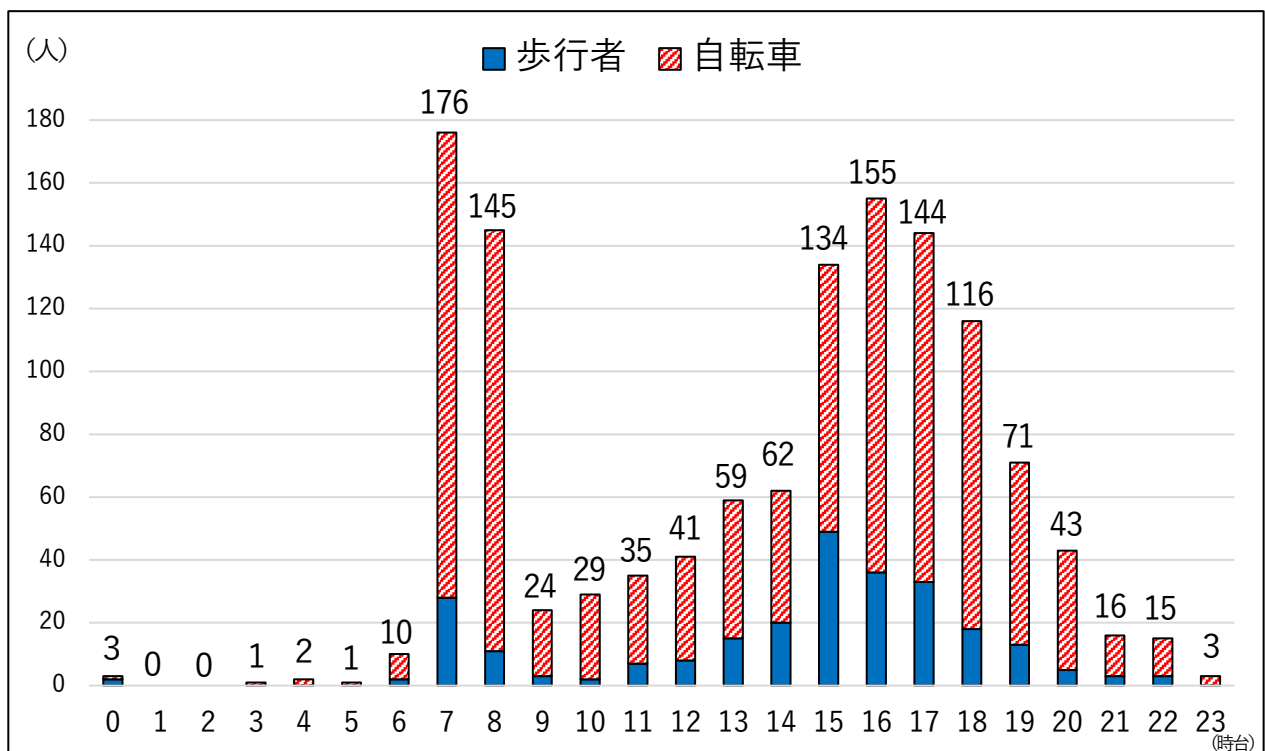


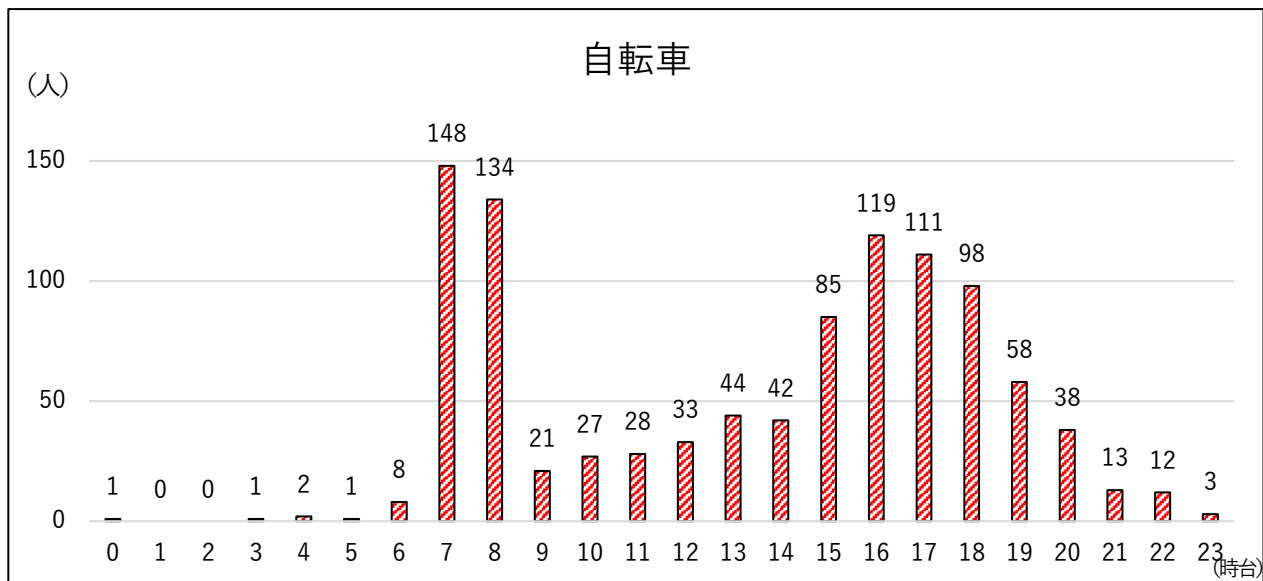
2 時間帯別の救急搬送人員

時間帯別の救急搬送人員をみると、＜歩行者と自転車の合計＞では「7時台」が最も多く176人（13.7%）、次いで「16時台」が155人（12.1%）、「8時台」が145人（11.3%）と続きます。

＜歩行者＞のみでみると「15時台」が最も多く49人（19.0%）、次いで「16時台」が36人（14.0%）、「17時台」が33人（12.8%）と続きます。

＜自転車＞のみでみると「7時台」が最も多く148人（14.4%）、次いで「8時台」が134人（13.0%）、「16時台」が119人（11.6%）と続きます。





3 曜日別の救急搬送人員

曜日別の救急搬送人員をみると、「金曜」が最も多く234人（18.2%）、次いで「水曜」が218人（17.0%）、「木曜」が206人（16.0%）と続きます。

